

## スライディングボードによる座位移乗 介護技術チェックリスト

1	車椅子の準備	移乗側アームレストをはずす
		フットレストは両側はずす
		車いすは、ブレーキをかけて少し離れたところに置く
2	説明と同意	これから行う介護行為について、利用者へ説明する
		車椅子へ移りましょう。よろしいですか？できないことはお手伝いいたします。できることはご自分でなさっていただけますか？」と声をかける。
		それぞれの行為ごとに、声をかける
3	ベッド端坐位	利用者をベッドサイドに端坐位に座れるように介助する。
		足を床につけ、手はマットレス。安定した座位を確認する
4	ベッドの高さ調節	ベッドの高さを調整する。車いす座面より少し高めに。
		視線は絶対に離さない（利用者の肩に介護職の手をおくと姿勢保持を手でも確認できる）
5	介護職の立ち位置	介護職は利用者の真正面に立って、利用者の両肩に手を添える
6	スライディングボードの敷き込み	利用者の両肩を前に引き、利用者を前傾にする
		利用者を斜めに倒すー（片側の臀部が浮く）
		介護職の片手を利用者の脇下に入れて体を支えつつ、
		介護職のもう一つの手は、ボード端を、上から、持つ。
		浮いた利用者の片側の臀部下にスライディングボードが乗るように敷き込む。
		（マットレスにボードを押し付けるように、上から敷き込む）
7	車いすの引き寄せ	安定した座位姿勢にもどす
		車いすをベッドのさらに引き寄せ近づける
8	ボードの回転	車いすにブレーキがかかっていることを確認する
		ボードの片側を回転させ、車いす座面にしっかり橋渡しする （対角線上 橋渡し距離 10センチ以上が安全）
9	利用者の手をアームレストに誘導	ボードの片側を回転させ、車いす座面にしっかり橋渡しする
		（対角線上 橋渡し距離 10センチ以上が安全）
9	利用者の手をアームレストに誘導	利用者の手を車いすのアームレストにかけてもらう
		（アームレストが財バランスの保持に役立ち、姿勢が安定する。前掲に自然となる）
10	利用者の足位置	利用者の足位置を動かす。車いすの方へ引き寄せる。
11	介護職の足位置	介護職の足は 90 度を開く

		片足は利用者の足と並ぶように置き、もう一方の足のつま先は車いす方向へ向ける
		介護職は基底面積を広く、膝を曲げ、腰を落とす。
<b>12</b>	介護職の手位置と支え方	介護職は片手を利用者の脇下に入れ、
		介護職のもう一つの手は、利用者の腰に置く
<b>13</b>	すべらせて移乗	利用者の体を移乗側に斜め前に
		介護職は利用者の脇下に手を入れて体を支えながら、腰においた手を押すイメージ
		利用者の体重がボードに乗ってゆっくりすべる。
		移乗終わりは、滑った方向と逆にキュッと体を傾け腰を押すと奥まで座れる
<b>14</b>	ボードを抜く	ボードを上引き上げるようにして抜く
		(ボード裏には滑り止めがついている。真上にあげ接触を減したほうが抜ける)
<b>15</b>	奥にしっかり座る誘導	奥にしっかりとすわってもらう
<b>16</b>	アームレスト	アームレストをつける
<b>17</b>	摩擦をとる、ずれをはがす	本人がプッシュアップするか
		前後左右に体を倒して、滑ったときに生じる、皮膚のずれや摩擦をとる
<b>18</b>	フットレスト	フットレストを車いすにつける
		フットレストに足を乗せる
<b>19</b>	丁寧な流れ	動作の一つ一つが丁寧で中断せずにスムーズな流れであったか
<b>20</b>	安全・安心感	目配り、安全確認があること。ヒヤリハットの場面がないこと

